



妻籠宿を歩く

安茂里地区には地域公民館が18館あり、区民のより身近な公民館として多彩な行事や館報作りに勤しんでいる。また安茂里公民館も住自協の指定管理2年目を迎え、両公民館が共に手を携えて地域の社会教育活動の推進を図っていききたいと考えている。

そうした折、我が国第1号

安茂里地域公民館との連携

く日本最初の妻籠公民館見学を通して

安茂里地区が木曽郡南木曽町妻籠に生まれたことを知り、教育文化部と安茂里公民館共催で妻籠公民館への研修会を実施した。戦後、民主主義社会をめざし、昭和21年7月5日文部次官通牒により全国に公民館が設置されることになった。それを受け妻籠公民館は、わずか2か月後の9月8日には立ち上がったという。設立時期が早い遅いの問題だけでなく、その後公民館職員たちは当時寂れた宿場町を見直し、地域の良さを再確認して宿場保存に向かった。その結果全国に先駆けた町並み保存運動となり、日本初の重要伝統的建造物群保存地域として今に至っている。前教育長の遠山高志さんの説明の中で、「町

並み保存の成否は、リーダーとそれに続く人々の信念にかかっている。」との言葉が耳に残った。帰路、各公民館長にとって、安茂里地区の良さを今後どのように活かすか考えさせられる、貴重な研修会となった。

妻籠研修を終えて

差出中公民館長

市川直久

日本で初めて公民館活動が行われ始めた地、『妻籠』での研修に参加させていただき始めた初期は、「若者による集い」が中心だったようですが、その後「地域の活性化」を目的とした活動に変化していったとのことでした。個人的には、当時の能動的（エネルギッシュ）活動と現在の受動的活動に大きなギャップを感じましたが、地域の輪・地

安茂里地区 世帯数と人口 (8月1日現在)

世帯数	9,093戸
総人口	21,155人
男	10,140人
女	11,015人

妻籠宿に行ってみて

大門公民館長

平坂公一

域の活性化という観点では、今も昔も変わらないことを強く感じました。初心に帰って地域活動の重要性を改めて感じられた1日でした。

妻籠宿は日本で最初に公民館が創立されて、その活動が大きな力となり今日の文化財としての妻籠宿の発展がある聞き、住自協と安茂里公民館共催の「妻籠研修会」に参加させていただきました。当日は暑い日差しの中、日本人より外国の方が多く、いと思われる賑わいで、昔の宿場町の家並みや周りの自然の豊かさに堪能いたしました。妻籠ではいち早く公民館が開かれ、当初は演劇活動が多かったようですが、村政やたまたま疎開していた文化人等の影響をうけ活発な活動のなかで、民俗資料の収集をしたことが妻籠宿の保存に結実し、今の街並みに繋がったことをお聞きしました。私たち大門公民館の活動にとっても、大変参考になる研修でした。

杏仁

例年になく早い梅雨明け宣言に、6月中から暑中見舞いのあいさつが飛び交う今夏、激甚災害指定を受け

た西日本豪雨による被害は甚大なものであった。加えて、体温よりも高い40℃超えという驚異的な気温に、近年地球規模で発生する異常気象を実感する。▼被災地の西日本も含め、その後の全国的な酷暑による熱中症が大問題となり、各地ではエアコンの設置や夏休みの延長、炎天下での野良仕事やスポーツの自粛、こまめな水分補給等と、生命維持のため「自分の体は自分で守る」呼びかけがなされている。▼雨一滴も降らず、朝からうなぎ上りに気温だけが上がる様は、会う人同士「暑い、暑い」の大合唱であり、今年はまさに水不足の夏が予想される。人間はもとより田畑の農作物、電力や工業用水等、様々な方面に被害を及ぼしそうだ。▼そんな時人々が乞い願うのは、天からの恵みの雨。かつてここ安茂里の村々にとっても、戸隠神社のお種池から貰ってくる九頭竜権現の功德があるという、雨乞いの種水の出番とならないよう願うばかりだ。

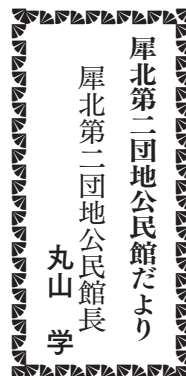
地域公民館

だより②

犀北第二団地公民館だより

犀北第二団地公民館長

丸山 学



犀北第二団地公民館は、地域の皆さまとともに毎年いろいろな行事に取り組んでいます。5月の安茂里地区スポーツの祭典への参加に始まり、

6月には、区民日帰り小旅行。今年は24日(日)に、今まで出かけた事がなかった鹿教湯温泉に行ってきました。行く途中で、生島足島神社に立ち寄り、偶然居合わせた宮司の方にお話を聞くことができました。生島足島は、生島神と



鹿教湯温泉旅行

足島神の二神が祀られ、生きとし生けるものの万物に生命力と満足を与えと言われている事を教えていただきました。また、鹿教湯温泉では、お昼を頂きながら、地域の親睦を図り、カラオケ等で大いに盛り上がり日頃の疲れをいやすことができたと思います。

今後の行事予定は、10月にマレットゴルフ大会、12月にしめ縄づくり講習会、1月にごんと焼きと人権啓発研修会を行う予定です。

「館報こむらさき」は、年2回発行し、地域や公民館活動の報告をしています。これからも公民館活動が盛り上がるように地域の皆さまの参加、ご協力をお願いいたします。

大切な交流の場

杏花台公民館長

鹿山 邦夫

杏花台公民館は、年に四つの行事の主催者として取り組みをしています。

6月には「日帰りバスの旅」を実施。行き先は、安曇野・大町温泉郷でした。安曇野・イス村ではワインやジュースの試飲を楽しみ、ショッピング



穂高神社「茅の輪くぐり」前で

グもしました。穂高神社では、8の字型を描くように3回ぐる「茅の輪くぐり」を試みました。「緑の葉は生命力の源であり、災難除けになる」とのことです。黒部ビューホテルでの入浴後の昼食では、ビール・お酒などを酌み交わし、親睦を深めました。良い天気にも恵まれた一日で、行きと帰りのバスの中は、カラオケで盛り上がりました。

納涼盆踊り大会は、毎年8月14日に育成会主催で開催。

太鼓打ち・打ち上げ花火で始まり、踊りの輪ができます。育成会イベントとして、スカ割りや花火大会もあります。秋の行事は、「文化講演会」と「文化展」です。「文化展」は11月の開催で、昨年は出品者47名、91点の作品を展

示。絵画・版画・書・木彫・写真・工芸・手芸・俳句・川柳・短歌など様々です。

いずれの行事も、皆様のご協力で実施することができ、育成会や長生会との連携の場面も多く、区民の大切な交流の場となっています。

平柴台公民館だより

平柴台公民館長

青木 哲郎

平柴台は安茂里18地区の中で世帯数は下から二番目のこのじんまりとした団地で、発足以来45年目になります。

発足当時は働き盛りの世代が中心を占め、子供の数も多く、活気あふれる公民館活動が展開されていました。ご多分に漏れず少子高齢化が進んでいる昨今は、公民館活動の中心的行事だった運動会は過去のものとなりました。しかし16年前から開催されている団地内の遊園地を会場とする観桜会は、時代の変化に即した行事として支持を集め、毎年多くの住民が参加しています。昔から変わらず続いている夏祭りは、世代間交流の貴重な行事として賑わっています。

す。

また、住民の自主的なグループ活動には公民館が助成金を交付して側面から支援する形をとっていますが、グループの数はスポーツと文芸を中心に八を数え、規模の小さな団地としては活発な活動が行われています。

なお、平柴台では毎年館長以下公民館役員が全員交代します。年ごとに持ち味が異なる、特色ある公民館活動が団地発足以来の伝統として受け継がれています。



葉桜でも盛況だった観桜会

初級ランニング講座

く長野マラソンをめざそう！

◆日時 ①9月25日(火)

②10月9日(火)

③10月23日(火)

◆時間 夜7時～9時

◆申込 9月3日

※詳細は公民館へ



公民館講座 の紹介

平成30年度の公民館講座も前半が過ぎ、好評のうちに各講座が開催されました。これまで実施したいくつかの講座をお知らせすることにより、これからの講座参加の参考になればと考えます。

戸隠神社の 柱松神事見学会

今年の地域教養講座では、7月8日に戸隠神社中社で行われた3年に一度の柱松神事の見学会を行った。戸隠信仰の元である修験道の神事で、



柱松に点火

から歓声が上がった。来年は、国重要無形民俗文化財に指定されている飯山市小菅の柱松神事が行われる。こちらは、戸隠とは違った古い形態の柱松神事が繰り広げられるので、また期待したいものだ。

四季の和菓子作り(夏)

近世まで続いてきたものであるが、明治期になつて廃仏毀釈により途絶えていた神事であつたものが、『戸隠山大権現縁起』(1736)等の古文獻を参考に、平成15年に復活した行事である。奥社・中社・宝光社と銘うった3体の柱松は、五穀豊穡・天下泰平・商売繁盛を占う火祭り、木や根曲がり竹で作られた3体の柱に火をつけて、燃え方や倒れた方向によつて今年の世情を占う。

当日は時々小雨も降る天候であつたが、宝物館で開催中の柱松神事の企画展を見た後、火祭り神事の見学となつた。白装束の行者がほら貝を吹く中、火打石で柱松の根元に点火された。湿気っているため付きにくかつたが、ようやく3体ともに点火できると観衆から歓声が上がった。今年新たに開設した講座に、地元伊勢宮の「旬彩菓 たむら」田村康博店主による四季の和菓子作り講座が好評を得ている。四季毎にイメージされた和菓子の作り方を伝授いただけるのであつて、受付開始後すぐに希望者で埋まつてしまふ状況だ。年4回の開催で、店主自らに指導いただける機会にめつたにないから、受講者にとつては貴重な経験となつている。

第1回目は5月14日に夏の和菓子として、涼しげな「水ようかん」「くずきり」「上生菓子」の3つを各自が作り、参加費以上の完成品を満足して持ち帰ることができた。材料費500円のみではとても無理な分、たむらさんには大変勉強をさせていただいていることに感謝している。

2回目は秋の和菓子作りを先日8月27日に実施し、3回目は10月15日(冬)、4回目は12月3日(春)と開催されるのでご期待を。各回ともに調理室のテーブル数の関係で、24名ずつの募集となる。

企業を訪ねて①



四季の和菓子作り

キャンセル待ちが出るほど好評の「企業を訪ねて①」が7月4日に開催され、食品関連企業の訪問が実施された。身近で目にする企業が多く、実際どのような製品を作っているのか興味の湧くところであるが、訪問してみると食品生産工場であるため安全・安心をモットーに、衛生管理にはことさらに気を配っていた。近代化された最新設備のもと、従業員は衛生白衣に身を包み、見学者もキャップをかぶって説明に聞き入った。

凍み豆腐等のみずずコーポレーション、きのこのホクト、味噌のマルコメ、食品素材と



企業を訪ねて

第44回安茂里地区「 スポーツの祭典」 —競技結果—

6月22日(金)

☆ゲートボール(大門公園)

優勝 平柴
準優勝 安茂里
3位 信更
小田切

豊かな生活

育てましよう

安茂里公民館 226-4059

生活文化講座

◎川中島合戦にいが出陣

日時 9月28日(金)

定員 午前8時50分

申込 20名

◎企業を訪ねて②

日時 10月12日(金)

定員 午前8時30分

申込 20名

◎①に参加された方は、②への参加をご遠慮ください。

◎四季の和菓子作り③(冬)

日時 10月15日(月)

定員 午後1時30分

申込 24名

◎楽しく歌おう愛唱歌②

日時 11月9日(金)

定員 午後1時30分

申込 100名

安茂里地区にお住まいの方

その他地区にお住まいの方

10月19日(金)

10月26日(金)

◎楽しく遊ぼう

日時 9月12日(水)

◎②「絵の具でお絵描き」

日時 9月12日(水)

◎③「ミニ運動会」

日時 10月10日(水)

各回午前10時

◎杏の里教室

◎ツボ健康法

◎やさいい経済入門講座

◎「アジア・アフリカ・中南米・中東などの開発途上諸国」

③「ミニ運動会」

日時 10月10日(水)

各回午前10時

◎杏の里教室

日時 9月6日(木)

定員 午後1時30分

申込 20名

◎ツボ健康法

日時 8月23日(木)

◎やさいい経済入門講座

日時 9月13日(木)

◎「アジア・アフリカ・中南米・中東などの開発途上諸国」

日時 9月13日(木)

◎古文書にみる安茂里

日時 9月20日(木)

◎③「災害」

日時 9月20日(木)

◎煙と親しむ(お香と燻製)

日時 9月12日(水)

◎①「線香を練つての香作り」

日時 9月12日(水)

◎②「香りを楽しむ」

日時 9月19日(水)

◎③「ソーセイジ作り」

日時 8月23日(木)

◎④「スモークチキン作り」

日時 10月17日(水)

◎①と②、③と④は同じ方の参加とします。

日時 10月24日(水)

定員 各24名

申込 9月26日(水)

午後1時30分

◎①と②、③と④は同じ方の参加とします。

日時 9月26日(水)

午後1時30分

安茂里地区成人祝賀式のご案内

日時 平成31年1月3日(木) 13時から15時(12時30分受付開始)

場所 安茂里公民館(安茂里総合市民センター)

対象者 平成10年4月2日から平成11年4月1日の間に生まれた方

- ・対象者のうち安茂里地区に住民登録されている方には、11月中旬に案内状を送付します。
- ・対象者のうち安茂里地区外に住民登録されている方については、下記の該当調査票に記入して安茂里公民館または各地区公民館長へ提出してください。それにより案内状を送付します。

運営委員を募集 毎回、新成人の中から10名程の運営委員を選出して祝賀式を運営しています。
運営委員を希望される方は、安茂里公民館または各地区公民館長にお申し出ください。

◇問い合わせ先 長野市立安茂里公民館 電話026-226-4059(FAX兼用)

コピーまたは、切り取って安茂里公民館(FAXでも可)または各地区公民館長へ提出願います。

----- 切り取り線 -----

安茂里地区成人祝賀式該当者調査票

平成30年 月 日
提出期限10月22日(月)まで

公民館長様

成人者氏名	性別	生年月日	親(保護者等)氏名	案内状送付先	地区名
ふりがな	男・女	平成 年		〒	
		月 日			
				電話番号	

※本人が就学、就職などで住民票を安茂里地区外に異動している場合にはこの調査票を提出してください。
(この個人情報は、成人式以外には使用しません)